幸福実現党 NEWS 特別号

発行：宗教的な視点から LGBT 問題を考える連絡会議 Vol.2

すべての人々が幸福になる社会を目指して

私たちは、以前から LGBT の方々の行き過ぎた権利の拡大を認めることは、社会の秩序を乱し、結果、多くの人を不幸にしてしまいかねないと、警鐘を鳴らしてきました。私たちは当事者の方々を差別する気持ちは一切ありません。むしろ、男女を創造された神仏の存在を信じ、宗教的な視点に立つからこそ、当事者の気持ちに寄り添うことができると確信しています。LGBT の当事者の方々の幸福を心から願いながら、すべての方にとって、本当に幸福な社会のあり方を考え、その実現に取り組んでまいります。



※LGBT：自分と同じ性別の方を恋愛対象とする「同性愛」の方や、生まれ持った自分の性別に違和感を持つ方のような、性的マイノリティの方々を指します。

社会全体を左右する「同性婚」の判断

◆結婚や家族のあり方を根本から変えてよいのか

「同性婚を認めない現在の法制度は憲法違反」として、2019 年から同性カップルの方々が全国5か所で6件の訴訟を起こしています。高等裁判所の判決は「憲法違反」が5件、「憲法違反に当たらない」が1件であり、判断が分かれています。これを受けて、最高裁判所は、早ければ今年度中（2027年3月頃まで）に、裁判官15人で構成される大法廷にて、統一判断を示す見込みです。



もし、「同性婚を認めないことが憲法違反」と判断されたら、「同性婚」を認める法整備が進められることになります。**これは、同性カップルの方々だけの問題ではなく、日本が大切にしてきた家族や結婚のあり方を根底から変え、私たちが暮らす社会全体を変える重大なテーマです。だからこそ、同性婚には、慎重な議論が必要です。**

◆家族の定義を変えるよりも、個別に必要な法整備を

国が「男女の結婚」を法律で守ってきたのは、「夫婦と、生まれてくる子供」という家族のかたちが、社会を次の世代へとつないでいく大切な役割だと考えられたからです。同性カップルの方々が一緒に暮らし、相続の仕方を決めて財産を守るなど、必要な制度を整えることは、個別に検討されるべきです。しかし、**「同居権や財産権の問題と、結婚の定義は別」**です。**これまで日本が大切にしてきた「家族のかたち」を根本から変えてしまう「同性婚」を急ぐ前に、もっと慎重な話し合いが必要だと考えます。**また、同性カップルの方が生殖補助医療を利用して血のつながった子供を持ったとき、親子関係をどうするのか、といった議論も十分ではありません。**一部の当事者だけの意見で司法判断がされ、国家全体の方向性が決まってしまうことに、私たちは強い不安を感じています。**



ネット署名開始！ 多くの声を届けよう！

同性婚についての判断を示す最高裁大法廷に対して、同性婚をめぐる国民の不安に配慮した統一判断を求めるため、2026年11月30日まで、**【同性婚法制化に反対する国民の声を司法に届けよう】同性婚法制化に関する国民の懸念に留意した統一判断を求める署名**と題して、ネット署名を行っております。



私たちの考えにご賛同いただけましたら、右記の QR コードから、署名をお願いいたします。お一人でも多くの方の賛同のお声をお待ちしております！

こちらから署名を
お願いします！ ⇒
（約3分で完了します）

●署名の方法

1. QR コードからサイトに入り、「署名で応援する」をクリック。
2. 氏名とメールアドレスを入力。
3. 入力したメールアドレスに届いたメール文の URL をクリックして署名完了！



宗教的な視点がなければ解決できない LGBT 問題

理解するカギは「生まれ変わり」の真実を知ること

LGBT問題は、**海外では宗教的な視点から議論されている**、重要なテーマです。日本でも、表面的な議論ではなく、**本質を捉えた宗教的な視点**に基づいて、LGBTについて考えていく必要があります。
そもそもなぜ、自分の性別に悩む人がいるのでしょうか。LGBTの方々への理解を深めるためには、「人間がどのような存在であるのか」を知ることが、カギとなります。**人間の本質は肉体ではなく、「魂（たましい）」です。人間は「永遠の生命」を持って、自分の魂を向上させるために、この世とあの世を何度も生まれ変わってきている存在です。**過去の人生で、片方の性を繰り返して生まれている魂もあれば、男女を交互に経験している魂もあります。性別は、今回の人生で学びたいことや、成し遂げたい使命によって、自分で選んでくることが多いのです。

◆人間は男性にも女性にも生まれ変わっている



たとえ自分が望まない性別に生まれることがあっても、自分の魂を向上させるため、必ず意味があって、その性別で生まれています。自分の個性を大切にしながらも、今回生まれた性別として生きることで、人生を輝かせていくことを、神仏は願われているのです。その意味で、男女の区別をなくす平等ではなく、「神仏の子としての平等」を考えることが大切です。

幸福実現党　宗教的な視点から LGBT 問題を考える連絡会議について

幸福実現党はすべての人々が幸福と繁栄を実現できる社会を目指すため、昨年、「幸福実現党　宗教的な視点から LGBT 問題を考える連絡会議」を設立しました。**「LGBT理解増進法の廃法」、「公共の女性スペースを守る」、「子供たちへの包括的性教育の抑制」、「パートナーシップ制度の新規導入の抑制」、「選択的夫婦別姓制度、同性婚法制化に反対」**などを掲げながら、現在活動しております。

代表



のはら　ようこ
野原　洋子
埼玉県　宮代町議会議員



2025 年 9 月議会での一般質問
マイノリティの権利を守ることで、多くの女性が不安に思う状態があってはならないとして、女性スペース利用でのジェンダー対応について質問。

副代表



みつやま　ちえ
光山　千絵
長崎県　大村市議会議員



2024 年 9 月議会にて 事実婚の同性カップルへの住民票交付問題を巡り、「住民票の正確かつ統一的な記載」を求める決議案を提出。

動画

幸福実現党公式 ▶「TruthZ」配信中





書籍

太陽の法〔携帯版〕
なぜ男女が存在するのか―神仏が人類を創られたときの願いに迫る。この一冊に、未来を切り拓く鍵がある。
大川隆法著
幸福の科学出版刊
1,320 円（税込）

